



《関市をフェアトレードタウンに》



～フェアトレードとは～、

途上国の製品を適切な価格で持続的に購入する事で発展途上の生活を改善し自立を目指す貿易の仕組みのことである。

目指すは**公正な取引**



フェアトレードにより発展途上国の
伝統文化や自然環境を、守ることが出来る。

《関市をフェアトレードタウンにするための提案》

フェアトレードタウンになるための基準

- ・地域の店によるフェアトレード製品の幅広い提供
- ・地域社会への浸透
- ・地域活性化への貢献
- ・自治体によるフェアトレードの支持と普及
- ・推進組織の設立と支持層の拡大
- ・運動の展開と市民の啓発

🌍地域の店でフェアトレード商品の提供

関市の人口が現在 9 万人なのでフェアトレード商品(チョコ、バナナ、コーヒー、ジャム、布、アクセサリなど、)を 2 品目以上扱う店を 9 店舗確保する必要がある。現在、2品目以上扱っている店舗はマーゴのみ。残りの 8 店舗の候補を以下のように考える。

ジャスコ系列の**ミニストップ**(関市内に 4 店舗)、無印良品を扱っている**ファミリーマート**(関市内に 24 店舗)は、フェアトレード商品を扱っている企業なので障害が少ないと考える。そのほかの候補として**バロー**、**オオクワ**にも扱ってもらえるのではないかと考える。

🌍地域社会への浸透のため、学校の給食にフェアトレードのバナナ、ジャムを取り入れる。

🌍地域活性化への貢献活動としては、祭りでのフェアトレードブース設置や、道の駅を活用することにより、地産地消やまちづくり活動と連携する。

🌍自治体の支持の普及のため、この提案を市長や議会に認めてもらう。

🌍関市や商工会議所に推進組織を設立する。

🌍運動の展開と市民の啓発のためにイベントを行い、メディアに取り上げてもらう。

実際に私たちは、次のような活動をしました。

関高校文化祭で、スターバックスとの共同企画

関高校文化祭でフェアトレードコーヒーを配り、フェアトレードクイズを出すことで、楽しみながら多くの人にフェアトレードについて伝えることができました。また、新聞に取り上げてもらいました。



STARBUCKS®



スターバックスの活動

スターバックスコーヒー関マーゴ店で youth connection の活動に参加しました。

コーヒーの基本的知識や接客のコツや活動指針を学び、スターバックスが行っているカフェ・プラクティス(フェアトレードのような活動)も理解できました。最終日には自分たちで考えたイベントを成功させることができ、コーヒーを通じ世界の問題に目を向けることができました。



フェアトレードタウンになることで

人にも環境にも優しい関市の誕生。

関市から世界の環境を守る！

関高校

植村琉羽 栗田弥空

後藤知紗 田畑菜摘 山口紗季